

高速道路ナンバリング検討委員会

設立趣旨

高規格幹線道路の整備延長は、四半世紀で2倍以上となり、ネットワークの充実によりルート選択が複雑化している。また、昨今、訪日外国人旅行者は急増し、そのレンタカーの利用者も2年で約2倍と伸びているなど、我が国の高速道路は、多様な利用者が行き交う状況に変化しつつある。好調なインバウンドを地方に波及させるためにも、わかりやすい道案内は重要となっている。

一方、世界各国の高速道路に目を転じれば、路線番号を用いた「ナンバリング」による案内が一般的となっている。我が国の高速道路においても、わかりやすい道案内のために、この「ナンバリング」を導入していくことが考えられる。

そこで、すべての道路利用者にわかりやすい道案内を実現する観点から、我が国の高速道路における「ナンバリング」の導入に必要な具体の検討を行うことを目的として、「高速道路ナンバリング検討委員会」を設置するものである。